結婚を前に娘に贈る詩

　明日香がまだ生まれていない、ちょうど秋の深まりを感じる頃です。お母さんと二人でドライブの帰り道にたまたま立ち寄った山の中の「ナナカマド」という名前の喫茶店。

　県道からちょっと覗くように立っていた小さな看板に目を止め、偶然訪れた所でした。

　それに喫茶店というよりは、自宅を喫茶室として開放しているといった方が適切かもしれません。そこでケーキ付きのコーヒーセットを注文し、とてもゆったりとした楽しい一時を過ごしました。店にはアンティークとしてもいけそうな重厚な作りの真っ黒いかまどがあり、落着いた雰囲気で優しく私達を包んでくれました。室内からテラス越しに見える木々には、秋の柔らかな日差しが当たり、お母さんと一緒に同じ物を食べ、同じ風景を、同じ想いで見つめていることに何か満ち足りた心地よさを感じたものです。結婚とはそういうものです。「明日香」幸せになるんだよ。

応募時　（福島県48歳）高村亮一郎